

大分大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門

【施設概要】

大分大学医学部附属病院は大分県のほぼ中央、由布市にあり、現在、614床を構え、特定機能病院、都道府県がん診療連携拠点病院、地域災害拠点病院など多くの指定を受けています。「患者本位の最良の医療」さらに「高度先進医療の開発と提供をとおして、倫理観豊かな医療人を育成し、地域社会の福祉に貢献する」ことを基本理念に掲げ、34の標榜診療科において年間外来延べ患者 264,000人、入院延べ 195,000人の診断・治療を行い、大分県の地域医療の維持・発展に努めています。

【放射線部の体制】

2006年(平成18年)10月に、放射線部門、臨床検査部門、リハビリテーション部門、臨床工学・歯科部門の合計4部門からなる医療技術部が開設されました。以来、部長1名、副部長1名を配置し、現在(2022年10月末時点)は総勢140名のメディカルスタッフで構成されています。放射線部門には診療放射線技師36名(技師長1名、副技師長2名、主任6名、嘱託職員3名を含む)が勤務し業務に励んでいます。放射線部門はモダリティごとに8部署に分けて業務管理を行っています。令和2年度からそれぞれの部署に責任者(副技師長、主任)を2名配属させる取り組みを行っており、当直代休・年休時の責任者不在の解消、責任者自身の知識向上の意識づけ、部内の学術活動の活性化を図っています。役職を伴わないその他の技師は、新人・中堅・ベテラン問わず複数の部署を掛け持ちし、一日単位のローテーションで勤務しています。この体制により、年次休暇や時間休取得、不測の事態にも柔軟に対応出来ています。宿・日直は休日夜間を除いて2名(血管造影担当とそれ以外のペア)で行い、緊急検査に迅速に対応できる体制を整えています。



病院全景

部門責任者
2名体制

一般撮影部門

透視部門

血管造影部門

MRI部門

CT部門

放射線治療部門

RI部門

PET-CT部門

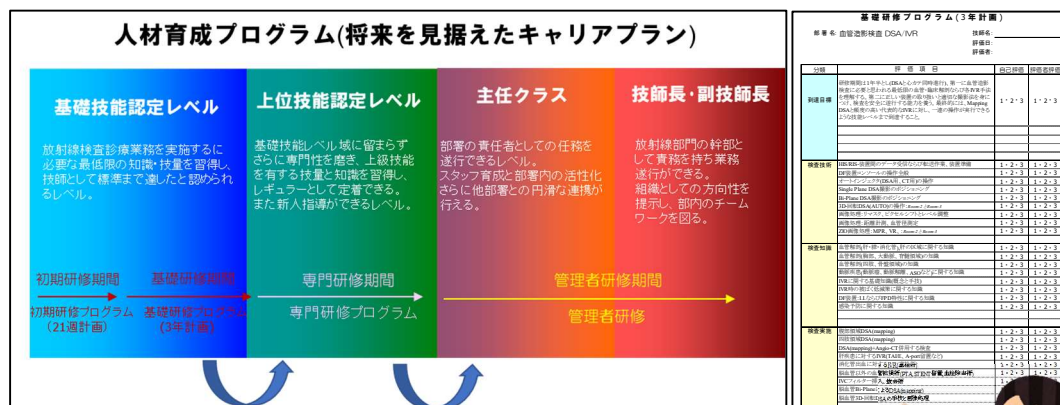
若手～副技師長まで、2～4部署を担当

- ・全職員が年次休暇・育児休暇等を取得しやすい環境
- ・若手から様々なモダリティを経験することで、キャリアアップの幅が広がる
- ・モダリティの垣根を超え、横断的な研究が可能



【人材育成について】

当院の教育システムは看護師のラダー教育に準じた方式を取り入れ、初期研修、基礎研修、専門研修、管理者研修の大きく4段階で構成されています。初期研修は新人が当直業務として必要な業務スキル、技術・知識スキルを21週間のうちに習得するプログラム(21週プログラム)があります。各部署で統一したフォームで確認シートを作成し、評価者、被評価者が3段階で評価することによって、相互理解と習熟度を「見える化」しています。その後、基礎研修や専門研修の段階を踏み、部署スタッフとして配属、勤務することになります。一昔前のように新入職者だから、とにかく先輩の姿を見てがむしゃらにというのではなく、今後自分が取り組むべきこと(求められていること)や不足していることを確認しながら、指導者と改善項目を共有することで着実にスキルアップ/キャリアアップが出来るシステムとなっています。



**研修期間はあくまで目安！努力次第で
研修期間が短縮、次のステップへ！**



【入職後のキャリアアップサポート】

○放送大学を活用した学位取得支援

職員研修及び自己啓発の一環として、毎年放送大学の受講生の募集が行われています。業務に関連して受講が必要と判断された教科については、入学料及び授業料が免除されます。

○修士・博士課程への就学支援

大分大学大学院医学系研究科への社会人入学希望者には、業務就業時間や当直業務の面から、「働きながら学べる」環境を可能な限りサポートしています。これまで多くの職員が本学大学院に進み、医科学修士等の課程を修了しています。

○教職員留学等支援事業

海外で修練し、優れた研究者、医療者としての人材を育成する目的で、教職員の留学等の援助が行われています。海外の学会での発表なども対象となっており、実際に多くの先輩技師も制度を活用しています。

【先輩技師の声】

【2021年採用 牧野技師】

現在、21週プログラムを修了し、一般撮影、透視、CTを担当しています。月に3回程度当直はありますが、2名体制なので不安な部分は先輩技師にサポート頂きながら業務が出来るので安心です。今は日々の業務を安全に実施することで精一杯ですが、研修プログラムを活用し業務の習熟度を高めていきながら、今後は学会発表や専門資格の取得を目標に取り組んでいきたいです。



【各部門の装置について】

各部門の装置については、昨今の放射線診療領域の技術革新に対応すべく最新の装置を導入しています。最新の装置を用いた研究も積極的に行われています。

一般撮影部門

FPD搭載型立位・臥位ブッキー台設置5室
FPD搭載頭頸部専用撮影室
FPD搭載マンモグラフィ撮影室
骨密度測定室

MRI部門

3.0T装置が3台体制
(MAGNETOM Verio, Skyra, Ingenia3.0T)

Ri部門

2台のSPECT装置
Symbia-S (SIEMENS社)
Symbia-Evo (SIEMENS社)

透視部門

FPD搭載オーバーチューブ型装置2台
(トモシンセシス1台)
内視鏡併用透視検査専用装置1台

放射線治療部門

2021年度
高精度放射線治療システムの更新
TrueBeam(Varian社)
Radixact(accuray社)

PET-CT部門

PET-CT装置2台体制
Biograph mCT-S(40)3R(SIEMENS社)
Biograph mCT Flow 40-4R(SIEMENS社)
サイクロトロン(住友重機械製HM-20S)

血管造影部門

心カテ等循環器専用
頭頸部IVR用パイプレン
IVR-CT(パイプレン)
IVR-CT(ER専用)
Hybrid-OR装置

CT部門

令和2年度末にCanonメディカルシステムズ社の320列CT3台体制
(Aquilion One, PRISM, Genesis)
高度救命救急センターに80列CT1台

【最後に】

近年では、AIに関する大分大学工学部との共同研究も開始されました。学術研究分野はもちろん、法人団体の理事役員職や全国・九州地域・大分県下に展開している様々な研究会世話人に就くなど、所属する診療放射線技師全員が自らのキャリアデザインに応じた実績を上げる取り組みを積極的に行っており、部内全体で個人を応援する配慮ができていることも当院放射線部の大きな特徴です。

ともに放射線部門を盛り上げていける、若い力を心よりお待ちしております。

仕事に疲れたら温泉でリフレッシュ!

